

「沖縄県産長粒種等を利用した琉球泡盛海外輸出検討会議」について

1. 趣旨

沖縄県における泡盛製造業は、離島を含む沖縄地域経済や雇用を支える重要な地場産業であるが、泡盛出荷量は 12 年連続で減少するなど厳しい状況に置かれており、輸出拡大を通じて泡盛業界の活性化を図ることが重要な課題となっている。

現在、琉球泡盛の原料米は、ほぼ全量タイ産米（長粒種）が使われているが、輸出の拡大に向けて、プロモーション活動等とあわせて沖縄県産長粒種など原料米にこだわった個性豊かなブランド銘柄づくりが重要である。また、こうした取組を通じて、地域水田農業の活性化に寄与することも期待される。

このため、沖縄県産長粒種等を利用した琉球泡盛の海外輸出の拡大を目指し、関係者が一体となって諸課題の解決に向けた取組を進めることとする。

2. 構成員

（1）議 長

農林水産省 政策統括官付 岩濱農産部長

農林水産技術会議事務局 菱沼研究総務官

（2）構成員

- ・ 農林水産省 政策統括官 農産企画課、穀物課
農林水産技術会議事務局 研究統括官（生産技術）室
- ・ 農研機構 本部、九州沖縄農業研究センター
- ・ 国際農林水産業研究センター 本所、熱帯・島嶼研究拠点
- ・ 内閣府 沖縄振興局 調査金融担当参事官
沖縄総合事務局 農林水産部
- ・ 国税庁 課税部酒税課
- ・ 沖縄県 農林水産部
- ・ J Aおきなわ 農業事業本部 特産加工部
- ・ 沖縄県酒造組合

なお、構成員については、必要に応じて追加できるものとする。

（3）事務局

農林水産省 政策統括官付 穀物課

農林水産技術会議事務局 研究統括官（生産技術）室